

リトルハウス通信

NO,83 2010年9月14日発行 発行責任者：梁瀬

住所：〒175-0082 板橋区高島平4-1-13 TEL：03-3975-3824・fax：03-5939-6224

ホームページ（バリアフリー市場）：<http://www5d.biglobe.ne.jp/~b-free-m/>

副作用を考えるホームページ：<http://www5b.biglobe.ne.jp/~dystonia/>

品物ご提供や名刺等見積みや注文承ります！

メンバー（見学の際、保健師・ワーカーさん等紹介者の方と一緒にお願い致します。）

ボランティアについてもお問い合わせください。

自己紹介

リトルハウスという社会の中で私は居て良いんだと思いたい、思われたんです。未だ未だN・OFFの切り替えが出来なくて無駄にエネルギーを使ってしまうって、私がメリハリをつける事を頑張ります。誰が強いか弱いか、いか醜いとか偉くても皆同じ人間だけだと思いません。自分自身の事が好きって言える人が、この世で一番好きって私に思いますが、私自身も好きです。私も自分の事、好きって言えるようになりたいなあ、でも、のろまの亀、急がばまわれでGOGOGO!!

9月10日11日「リカバリー全国フォーラム2010」

9月10日（金）11日（土）に文京学院大学本郷キャンパスで「リカバリー全国フォーラム2010」に出席してきました。

当事者を交えたトークライブ、「WRAP－WellnessRecoveryActionPlan－（元気回復プログラム）」の考案者メアリー・エレン・コーブランド氏による講演、大熊一夫氏による「リカバリーは精神科病院で実現できるか～イタリアでの経験を踏まえて～」の特別講演、分科会が開かれ「リカバリー」をテーマにした議論を行いました。

「リカバリー」とは「回復」という意味で使用されることが多いですが、1人1人「回復」を意味することは違うので厳密な定義は難しいようです。結果ではなく「回復」への過程が重要であり、その「回復」を「本人主体」で行うことがこの大会の意義だったと思います。

各分科会では業種を超えて、また支援者・当事者という関係もなく議題について討論をできたことが大変貴重な体験でした。精神保健医療サービスについて誰かがやってくれる、ということではなく、それぞれが自分の問題として考えていくこと、声をあげていくことが今後はより重要になっていきます。今回の政策に関するテーマがなかったことを踏まえ、来年にはより濃厚な会になるようなので、メンバーも参加できたらいいと思いました。

（木谷由紀江）

9月4日～ホットな就労支援者たちの集い♪(墨田区家庭C)

とうきょう会議東部ブロックと千葉の就労支援関係者との交流から生まれたまれたこの集い、医療福祉機関、障害者雇用企業などから70名以上の参加者がありました。

話題提供では、ヨドバシカメラの社員の方からの就労についての報告がありました。各店舗に身体16名、知的34名、精神24名の計74名を販売員の品だしサポートとして配属、仕事は会社に合わせるのではなく、ひとりひとりの特性を会社が考え行ってもらう事で就労が継続するようにしているとの事でした。

続いて各グループに分かれた座談会、私が参加したグループでは、話題提供の中から出た課題、「**ミスマッチ**」について…支援者と受け入れ企業との見方の違いがテーマとなりました。受け入れ企業側(特例子会社)から、支援者は太鼓判を押すような方でも様々な課題から就労が長続きしない現状(それに伴う担当社員の落胆や自責の念)があり、送り出しの現状の甘さ?が意見として出てきました。

これに対し、送り出し側の判断基準として、主に就労移行施設の方々から、企業の方から頂いたアドバイス「休まず出社出来る・挨拶が出来る人を望んでいる、仕事は企業で考え用意します。」を参考に、移行支援で週4日以上通所、加えてご本人が「自分はこういう仕事がしたい」とイメージ(=目的)を持っているかを基準にしている、**IPS**(注)を大切にしつつ従来の訓練プログラムも併用している、支援機関によってはクローズド(病気や障害を隠して就労する)も積極的に支援している等いくつかの判断基準や実践例が出されました。最後に、受け入れ側(企業)としては、振り返り等を行なうに当たり、ご本人と会社の間立つ支援者の存在は欠かせないのでは?また、就労を支援する人とは別に、生活を支援する人も必要では?という意見がまとめの形で出されていました。

本人の意思を尊重しつつ、現実的な裏づけ(休まず出社出来る・挨拶が出来る、就労へのイメージ等)と就労後のサポート(生活を含め)が大切なのは?日頃感じていた事を、新たに再認識した次第です。この後、各グループの発表の時間がありましたが、受け入れ企業の方でも施設通所もキャリアとして考えているという報告も励みになりました。

面白かったのは、別グループの発表で出た、ある企業の方の意見でした。採用は面接・人物重視なので、履歴書は名前があればそれでいい、という意見です。この企業、書類選考はしないのかな?するとしたらどういう基準なのかな?お聞きしてみたかったです。(梁瀬 光輔)

(注) **IPS (Individual Placement and Support)**…米国で1990年代前半にACTプログラムが展開する中で生まれた、就労支援に焦点を当て開発されたプログラムで、科学的に効果的であると証明された事実や根拠に基づいた援助プログラム(EBS: Evidence Based Practice)のひとつ。日本語では「個別職業紹介とサポートによる援助付き雇用」などと訳されることが多い。特徴として、**症状が重いことを理由に就労支援の対象外としない、就労支援の専門家と医療保険の専門家でチームを作る、職探しは本人の興味や好みに基づく、保護的就労ではなく、一般就労をゴールにする、生活保護や障害年金などの経済的な相談に対するサービスを提供する、働きたいと本人が希望したら、迅速に就労支援サービスを提供する、就業後のサポートは継続的に行なう**、がある。
～医療法人 福智会 勉強会のページから

名刺・はがき・封筒印刷・・・注文おねがいします！

名刺 100枚 1000円 両面印刷は、1300円です。
裏面が、表面印刷の80%相当の文字入力の場合1600円です。

板橋区の職員の皆様…名刺の注文は、ぜひリトルハウスにお願い致します。
高島平地域の方へ、サービス価格30枚300円から受けています。(ロゴ入り
ません)

その他各種はがき印刷・デジカメ画像現像などなんでもご相談下さい！

ネットの動きから



USED さかだちラッキー

…1000円落札

中古品ですが、付属品は全て揃っています。状態は良好です。

あなたの命令でいろいろなアクション

をします。(説明書より)



カセットテープ レアモノ 富田

靖子 14-19(ポスター付き)

…1100円落札

女優・富田 靖子の14歳～
19歳の出演作品による主題歌
等を収めたカセットテープです。
アイコ十六歳とか、さびしんぼ
う等の主題曲が入っています。



USED 組紐 角台・・・1600円落札

言葉通り組紐を作るときの台です。

出品の際、説明文作成が難しいお品物、それでも
落札につながったようです。

メッセージ

1 泊旅行(10月19・20日)・・・旭(千葉県)に決定!

今回は海か山かで意見が分かれ、3回に渡る投票の末
旭(千葉県旭市)に決まりました!

九十九里海岸沿いの街で銚子にも近く、昨年と同じ千葉県(勝浦市)でも又違う楽しみがあるようです。

既に旅行実行委員が動き、企画を立てています。

昼食の場所や工場の見学(何の工場かな?)等など、休憩を考慮しつつ立てられた企画のようです。バスの企画はこれからかな?

ますます旅行が楽しみになってきました。

特定非営利活動法人アドボケート会 正会員・賛助会員

- **正会員** 年一回の総会に出席して頂ける方
(入会金…初回年度のみ:1000円
年会費:1000円)
- **賛助会員** アドボケート会(リトルハウス)の活動に
支援頂ける方
(年会費:1000円)

※ この場合の1年間はこちらも
4/1~3/31までです。
郵便振替口座番号:00190-4-706343

加入者名:特定非営利活動法人
アドボケート会

**ご支援の程
よろしくおねがいいたします。**

今後の予定



- **スポーツ大会(9月18日 小豆沢野球場)**
- **家コープフェスティバル(9月18日 生協連会館)**
- **1泊旅行(10月19・20日 千葉県・旭)**
- **成増高等看護学校実習(10月25~29日)**

編集後記 練馬の作業所「オープンスペース街」が自立支援法に関するアンケートを行った。回答事業所数73ヶ所(9月6日現在)のうち、旧体系施設44ヶ所のうち33ヶ所が移行に反対している。その理由として、**移行しないと補助金を打ち切るのは納得できない。就労ばかり強調、廃止が決定されているのに移行しなければならないのは納得できない、**等である。

一方、移行施設29ヶ所中、**26ヶ所が膨大な事務量の増加**を挙げ、通所率が毎日がヒヤヒヤもの、作業受注等スタッフ負担の増大等、さまざまな不安があると述べている。

移行、といっても自ら選択してというよりせざるを得ないという現状は未だ納得の出来ないものがある。NHK大河ドラマ「龍馬伝」で龍馬は度々「わしはみんなが笑ううて暮らせる世の中を作りたいがじゃ」と語っているが…現実において、いったいいつになったら…とついつい考えてしまうのである。このたび党代表に再選した菅首相は、今度こそ「奇兵隊内閣」を作ることができるかな?(梁)